

乳頭健康度チェック

乳頭に異常が発生する主な原因の80%以上は、人的要因といわれています。その最大の要因には過搾乳があります。（搾乳方法が悪い場合と、システムが悪い場合の二通りがある）乳頭は搾乳方法等の善し悪しを物語っています。乳頭の観察を日常的な作業の一つに加えて、早期発見に努めて下さい。

1. 乳頭のチェック

乳頭はいつチェックするのがよいのか。それは慢性的状態を現している時といわれ、乳頭刺激の後、つまりユニット装着前が良いとされています。その時、乳頭先端部と乳頭の皮膚とに分けてチェックを行います。

乳頭の皮膚：乾燥、ひび割れ程度（潤いが無い）

乳頭先端部：肥厚、粗さ、角質度、放射状のひび割れ程度

(1) 乳頭の皮膚編



写真1 健康的な乳頭の皮膚



写真2 乾燥してひび割れている皮膚

(2) 乳頭の先端編

軽 度

中 度

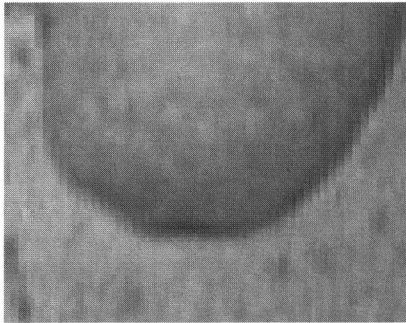


写真3 正常な乳頭

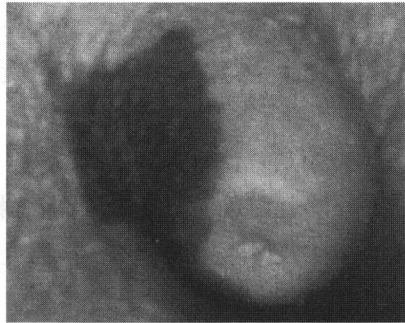


写真4 底がまだ滑らかで、硬い組織障害はない

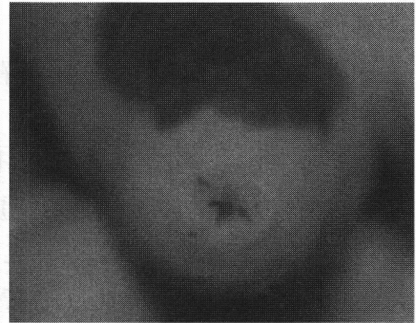


写真5 多少の粗さを伴い、盛り上がった肥厚の輪

重 度 A

重 度 B

重 度 C



写真6 角化症とひび割れを伴う硬い肥厚



写真7 角化症と放射状のひび割れを伴う非常に硬い肥厚



写真8 組織障害-開いた皮膚出血、外傷

(ホーズデーリーマン第98号1996)

2. 異常の主な原因

(1) 搾乳作業

- ①過搾乳
- ②殺菌剤濃度の高すぎ
- ③厳寒期のディッピング

(3) その他

- ①牛床管理が悪い

(2) ミルカーシステム

- ①調圧器作動の不適切
- ②真空ポンプ能力の低下
- ③ミルククロー容量の不足
- ④ミルクラインの口径が細い
- ⑤ライナーゴムが劣化
- ⑥シェルとライナーが不適合
- ⑦パルセータの機能が適正でない